



84農家から自慢の長十郎

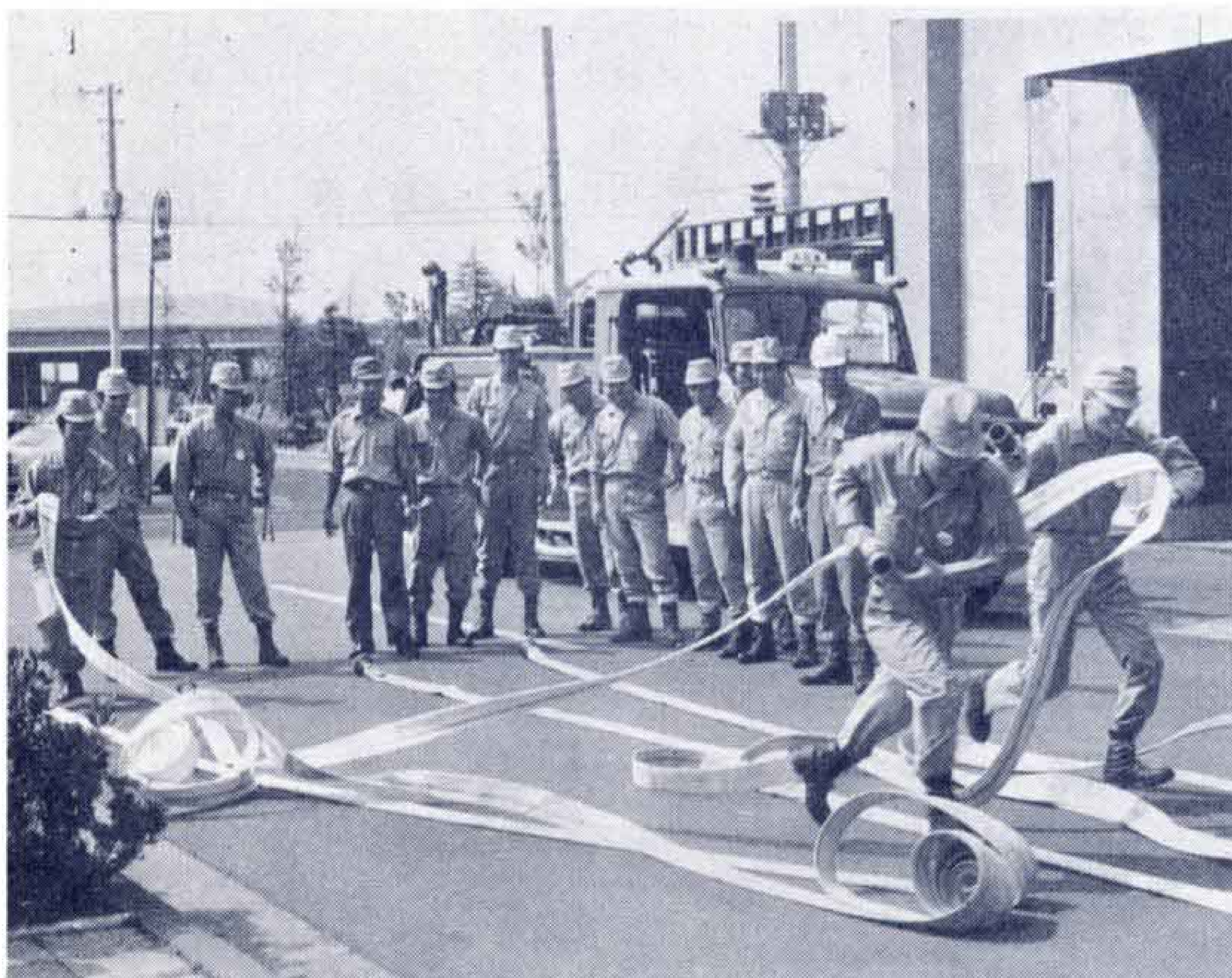
農家が丹精こめて栽培した富士ナシの品評会を9月1日、富士市農協会館で行いました。市内のナシ栽培農家は150戸、48畝のナシ園で2000トンが生産されています。品評会には84農家から自慢の長十郎が出品され、形や甘味などを審査しました。

今年は8月に雨が少なかったため、玉のびは悪いものの甘味はバツグン、作柄も平年並みで、おいしいナシが店先に出回りました。

なお、審査の結果、最優秀に石川澄夫さん(久沢)が選ばれました。

寝たきりのお年寄りに シーツのプレゼント

9月15日の敬老の日を中心に各地区ごとに敬老会が行われました。しかし、市内には敬老会に出席できない寝たきりのお年寄りが350人います。そこで、寝たきりのお年寄りに1日も早く元気になっていただこうと、シーツのプレゼントと市長の慰問文をお届けしています。渡辺市長も山田八重子さん(広見東本町)のお宅へ訪れましたが、おばあさんは寝ていては悪いからといって洋服に着がえて待ち、プレゼントを受け取ってくれました。



青年会議所の会員が 1日消防士を体験

消防士の勤務を体験し、日常生活の中で役立てていこうと、富士青年会議所の加藤敬治さんら19人は、さきごろ「1日消防士体験入署」を行いました。午前8時30分に消防士の交替を見学したあと、全員が作業着に着替え、入署申告をすませ、消防概況や業務の話し、訓練礼式など消防士としての心がまえの指導を午前中受けました。午後はポンプ操法、救急処置、レンジャー訓練と続き、厳しい訓練に汗びっしょりの体験入署でした。